



松ぼっくり



築地小HP

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和6年7月5日 発行

p4cについて

校長 田村 稔

各学年の授業で実践し、ホームページでも何回か紹介している「p4c」は「探究の対話」あるいは「哲学対話」「子ども哲学」などとも言われる対話の一手法です。教科指導はもちろんのこと、道徳や学級活動でも行われます。

ルールはいたってシンプル。子どもたちが円座になり、コミュニティ・ボール（以下「CB」）という毛糸玉をやり取りしながら話し合いを進めます。このCBを持っている子に発言権が与えられます。逆にCBを持っていない時には、発言者の話を否定せずに聞くことが求められます。自分の発言が、他の子たちから否定されず、受け止められるという「セーフティ」は、どんなことでも自分が素直に思うこと（あるいは自分自身を！）を受け止めてもらえるという安心感につながります。翻って他の子の発言をしっかり受け止めようとするのは、子ども同士が互いに大切にしようという関係性を構築します。p4cを重ねることによって子どもたちの信頼関係が醸成されることが期待されるのです。これがp4cの大きな特徴の1つ目です。

2つ目の特徴は、話し合いの問い（議題）は子どもたちが決めるということです。子どもたちがみんなで話し合いたいと思うことを議題にするのは、子どもたちの課題意識、あるいは知的好奇心といった「ワンダー」を大切にするという理念であり、子どもが主体となった対話を促すのです。対話の問いの決定を子どもに委ねることで、授業のねらいを達成できるのかと心配になる方もいらっしゃるでしょう。そこは教師の腕の見せ所。授業のねらいに迫る課題意識の醸成と子どもの課題設定力の育成が鍵になりますが、p4cを積み重ねることにより、自然と身に付いていくものだと考えています。

多くの子どもたちがこのp4cを楽しんでいます。それはなぜでしょうか。思うに、教師が敷いたレールの上を円滑に進むのではなく、あくまでも子どもたちが学びたい、探求したいという知的好奇心が大切にされるのを子どもたちが歓迎しているからだと考えています。日本の子どもたちは、世界の国々に比べて学習意欲が低いことが様々な調査結果で明らかになっていますが、p4cは子どもたちの学びに向かう力を育成するのです。

さらに、対話を重ねるにつれ、子どもたちの思考力や表現力のほか、粘り強く課題解決を図ろうとする力、友だちを大切に協働的に学んでいこうとするなどの非認知能力の向上も期待できます。

ただし、このp4cの教育的効果が表れるまで時間はかかります。当面は子どもたちが対話を楽しみ、学ぶことを楽しむことを、我々教師たちも楽しんでいきたいと思えます。ご支援よろしくお願いいたします。

築地小学校ホームページをご覧ください！<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→



知育・徳育・体育 1学期の取組について

築地小学校では、「学び合い 認め合い 鍛え合う子」の教育目標の下、知育・徳育・体育、それぞれの目指す子ども像、成果目標を設定し、日々工夫をしながら活動を進めています。1学期の取組の一部を紹介します。

確かな学力の育成（知育）

目指す子ども	思いや考えを伝え合い、学び合う子ども
成果目標	「授業が分かる」と答える子どもの割合を90%以上にする。 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える子どもの割合75%以上にする。



ICT学習

学習課題を工夫し、「考える」「学び合う」学習を充実させ、個に応じた指導に努めると共に、一人一台端末（タブレット）をさらに積極的に活用し、誰もが「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できる授業づくりを行い、学力向上を目指していきます。



「p4c」で対話を広げ、考えを深める

「p4c（ピーフォーシー）」を全学年で行っています。対話好きの子どもを育て、主体的な学びを充実させていきます。安心して自分の意見が言える「セーフティー」のルールは、学力向上、学級経営、いじめ防止にも大きな効果が期待できます。詳細は、この学校だよりの校長巻頭言、学校ホームページをご覧ください。



5年生 田植え



4年生「はるかなた」苗植え

5年生は、収穫したお米による米粉食品の開発を、4年生は育てたサツマイモ「はるかなた」によるスイーツ作りを計画しています。

地域の方々のご協力の下、体験活動を進めながら、自分たちが地域の役に立とうとする気持ちを

心の教育の充実（徳育）

目指す子ども	かかわり合って、互いのよさを認め合う子ども
成果目標	「学校に行くのが楽しい」と答える子どもの割合を85%以上にする。 進んであいさつをする子どもの割合を85%以上にする。

児童会行事のゲームやイベント、日々の清掃活動など、「松の子班」で活動を行っています。異学年交流を通し、リーダーシップやフォローシップ、社会性、互いを認め合う態度を育てていきます。



1年生を迎える会



清掃 反省会



6月に保・小・中の挨拶運動を行いました。コミュニティスクール委員、中学生の皆さんが、3日間、朝の挨拶に立ち、迎えてくれました。一人一人が「自分らしいあいさつ」のめあてを立てて取り組みました。

スマイル集会を行いました。いじめ見逃しゼロ県民運動についての話、各学年のスローガン発表を通して、いじめのない、仲良く楽しい築地小学校にすることを全校で約束しました。



健康な体づくり（体育）	
目指す子ども	健康に関心を持ち、進んで体を動かす子ども
成果目標	運動が「楽しい」と答える児童の割合を85%以上にする。 健康な生活（メディア）について考え、行動することができる子の割合を85%以上にする。

20分休みに「体力アップチャレンジタイム」を実施しました。築地小の児童の課題である「50m走」「長座体前屈」「立ち幅跳び」の3種目について、県の平均記録を参考に目標を立て、また、動画を見てそれぞれの種目のポイントを意識して、記録が伸びるように励みました。



松の子チャレンジカード(1学期) 年 番 名前

起きる時刻の目安 時 分 寝る時刻の目安 時 分

マイルール

	早起き ○か×	朝ご飯 ○△×	家庭学習 時間を記入	あいさつ レベル数を記入	早寝 ○か×	メディア ○△×
5月24日			分	レベル		
5月25日			分	レベル		
5月26日			分	レベル		
5月27日			分	レベル		
5月28日			分	レベル		
5月29日			分	レベル		
5月30日			分	レベル		
5月31日						

松の子チャレンジ週間（1学期）をふりかえって（6月3日に、担任の先生に出しましょう）

自分の振り返り（がんばったこと など） 家族のコメント

松の子チャレンジカード(1学期)の記入方法

早起き 自分の予定に合わせて、起きることができたか（○できた ×できなかった）
朝ご飯（○食べた △あまり食べられなかった ×食べなかった）
家庭学習 宿題や自主学習などを行った学習時間数を記入しましょう。
*学年×10分以上の学習をしましょう。

5月の「松の子週間」では、期間中、チャレンジカードにて、早寝、朝ごはん、家庭学習、あいさつ、早寝、メディアについてチェックをしました。自らを振り返りながら、規則正しい生活を送ろうという意識を高めました。



6月28日 小中合同クリーン大作戦 in 村松浜

小学生、中学生、地域住民合同による海岸清掃を行いました。「砂浜をきれいにしておいて、多くの人に海水浴を楽しんでもらいたい」などの思いをもち、時間いっぱいゴミを拾いました。中学生や地域の方と関わりながら、みんなで地域の役に立とうとする気持ち、ふるさとを愛する気持ちを高める機会になったことと思います。

ご参加くださった保護者、地域、各団体の皆様、たいへんありがとうございました。



きれいになった砂浜で、中学生が企画した棒倒しのミニ交流会。楽しかったです！

★ 6年生児童の感想より

- ・「地域の方が喜ぶような海岸にしたい」というめあてをもって取り組み、みんなが喜ぶ海水浴場になったと思います。ごみ拾いをして自分も気持ちがよくなりました。
- ・小、中、関係なくみんなで掃除をしている姿を見て、築地の絆を感じました。中学校に行ってもこの海岸清掃があると考えたら、とても楽しみです。
- ・わたしのめあては「みんなで協力してゴミを減らそう、環境のためにもみんなのためにも」でした。地域の方も参加して大人数で海岸を清掃して、めあてを果たせたと思います。

★6年生 修学旅行（佐渡方面）

6月4日（火）～5日（水）



佐渡金山やトキの森の見学、太鼓、たらい船、砂金採りの体験などを通し、佐渡の歴史と文化にふれ、ずっと思い出に残る修学旅行となりました。

★5年生 ふるさと体験学習

6月17日（月）～19日（水）

力又ー体験、農業体験、米粉のピザづくり、製粉工場の見学など、胎内市の自然や産業にふれ、ふるさとの魅力を再発見した3日間でした。

